Ⅱ．平成 28 年（2016 年）度　〈1 学期〉

○4 月 8 日(金) 1 年 G-MISSION

「議論をする上でのルール五箇条」と「講演を聞く上でのルール五箇条」

入学式の日に課題として各自が考えて提出した、上記ルールを班ごとにまとめる作業を行いました。

次回は、各班の発表です。

○4 月 14 日(木) 2 年 PEST ゼミ　1 回目

P(Political)，E(Economic)，S(Societal)，T(Technological)の各グループに分かれて、1 年間の予定や班分け等、最初の授業に臨みました。

○4 月 16 日(土) グローバルコース、1・2 年合同研修会

前半：6 階ホール（2 年生による司会）

グローバル生として、生活・学習上の注意点（アンケート結果より）

ジェスチャー・ゲーム

1 年・2 年混合のグループに分かれて交流

後半：羽衣青少年センター

情報交換と懇親

○5 月 6 日(金) 1 年 PEST 開始！

グローバルコースの新 1 年生、4 月はオリエンテーションとして G-MISSION を行いました。

5 月に入り、いよいよ本格的な SGH の活動が始まります。

今回は PEST の第一回、出席番号奇数が Political、偶数が Societal です。

各講座の様子をご覧ください。

Political は、「国連弁当」作成に向けて担当国を決め、何を調べるか議論しました。

Societal は、PEST の全体像と社会学一般についての説明を行いました。

次回は、偶数・奇数が入れ替わります。

○5 月 12 日(木) 2 年シナリオ・プランニング（SP）の様子

2 年生、SP 最初の課題もいよいよ佳境に入っています。中間考査明け 5/30(月)の発表に向けて、各班の議論が白熱しております。各象限のシナリオは、まとまって来ましたでしょうか。

◆SGH 指定 2 年目、年度当初（5,6 月）の様子です

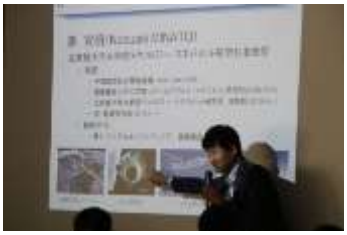
○5 月 13 日(金) 1 年「グローバル人材のための思考技法」

立命館大学、湊先生によるワークショップが行われました。

先生のこれまでの留学体験やお仕事等自己紹介の後、「思考法」をテーマにグループでの作業を中心に行いました。

思考法の発散系技法と収束系技法の例として、「ブレインストーミンク」と「親和図法」を体験しました。今後、グループワークの様々な場面での活用が期待されます。

質疑応答は、語学や留学体験・JAXA でのお仕事のことなどに関する、活発なものとなりました。



○6 月 14 日(火) 1 年生、初めての GE(グローバル・イングリッシュ)と E(Economic 経済学)

奇数 α と奇数 β の各グループは、GE 第 1 回の授業を受けました。

それぞれ 20 人程度に対して、日本人とネイティブ計 2 名の教員による実践的な英語活用の授業となっています。ここでは、生徒それぞれの積極的な参加が求められています。

「global とは何か」や「global issue」についてみんなで考え、英語で発表しました。

一方、残りの偶数 α と偶数 β の生徒たちは PEST ゼミのうちの E、これも 1 回目の活動です。
今回の授業は、班ごとに「今、興味のあること」「社会的問題」をテーマにブレインストーミングを行い、今後扱う「投資」対象の企業研究につなげて行こうというものです。

〇6 月 27 日(月) 2 年シナリオ・プランニング（SP）の様子
2 年生の第二回の SP は、「個人戦」を企画しました。
本来 SP は、グループで討論して知恵を出し合う中でシナリオを練り上げるものですが、今回はその手順を全員が理解し会得することを目標としました。
大テーマは生徒にとって身近な「大学」とし、各人がそれぞれのトピックを選定しました。

本日は、発表をお互いに評価しあって、最も優れたものを選ぶこととなっています。
まず最初は、ランダムにコンピュータで作られた 3，4 人の班の中での優秀作を決定します。
以下、各クラスでの 1 回戦の様子です。

優秀作の中からトーナメント形式で、さらによいものを選んで行きます。
以下は、グローバル生全員が集まって行われた、決勝の模様です。

さて、今回の最優秀作はどの作品となるのでしょうか。
このような経験が、次回以降の本格的な SP につながるものと期待しています。

◇1，2 年生 7,8 月の活動
〇7 月 12 日(火) 1 年生、関西学院大学へのフィールド・ワーク
午前中は社会学部、午後は国際学部でグループワークや留学生・大学生･大学院生との交流を行いました。
午前のグループは、社会学部の村田泰子先生より、まず「子育て」に関して日本と世界の状況について講義がありました。
これを受けて、中国からの留学生に「どのように育てられたか」をインタビューすることが生徒への課題です。
グループで質問項目を考え、実際に 2 人の留学生にインタビューを行い、そのまとめを発表しました。
その後、学部の学生 5 人に大学生活について色々お話を伺いました。
以下、その様子です。

午後のグループは、国際学部の吉村祥子先生により、「テロと国際社会」というテーマでグループワークを行いました。
関学の学生（7 名）や他の SGH 校の生徒（3 名）とともにブレインストーミングを行い、関学の学生が発表を行う際の構成を共に考えました。
最後に、 7 グループに分かれて学生生活について関学の学生との対話を行いました。
以下、その様子です

普段は PEST 基礎の授業で様々な活動を行っていますが、専門家の先生や大学院生・大学生の意見を聞く機会は貴重です。
また、大学や研究所を実際に見ることや、海外からの留学生と触れあう経験はこれもよい刺激となります。
各生徒が何を感じ、それを今後の SGH 活動にどのように生かせるか楽しみです。

〇7 月 22 日(金) 1 年生、池田市にある産業技術総合研究所（関西センター）でのフィールドワークの様子です。
最先端の研究に直に触れることができ、貴重な体験となりました。

○8 月 8 日(月) 2 年生、京都大学の化学研究所
若宮准教授の指導の下、太陽電池の原理の学習と制作を行いました。

○8 月 24 日(水)～28 日(日) 2 年生、タイ修学旅行
タイの歴史・文化の体験、学校交流、日系企業訪問、現地大学生との交流（B&S）等、盛沢山な内容でした。

それぞれ色々なテーマでプレゼン、討論

AJINOMOTO.